

1. 調査の背景

環境省では、富士山の登山者数の経年変化を把握し、国立公園の適正な利用の推進に資するため、2005年から4つの登山道（吉田ルート、須走ルート、御殿場ルート、富士宮ルート）のそれぞれ八合目付近に赤外線カウンターを設置することにより、登山者数調査を実施しています。

なお、富士山の開山日については、2014年に山梨県側（吉田ルート）が7月1日、静岡県側（須走ルート、御殿場ルート、富士宮ルート）が7月10日とされ、閉山日については2016年から両県で9月10日に統一されています。

2. 調査方法の概要

(1) カウンター設置位置

山小屋の協力を得てカウンターを4登山道のそれぞれ八合目付近に設置しています。

吉田ルート	： 太子館	須走ルート	： 見晴館
御殿場ルート	： 砂走館（※1）	富士宮ルート	： 池田館（※2）

カウンター位置図



※1：御殿場ルートでは、2016年まで赤岩八合館にカウンターを設置していましたが、霧の影響を受けやすい場所であったため、2017年から砂走館へ設置場所を変更しています。

※2：富士宮ルートでは、2018年から池田館付近で場所を微調整しています。

(2) 計測機器について

設置したカウンターは、赤外線反射を利用してセンサーにより通過人数をカウントする仕組みです。日時、方向（上り下りを識別）が記録され、日ごとの登山者数等を把握することができます。

(3) データの欠測について

カウンターは、豪雨の発生や台風の接近時等における山小屋への一時的な撤去又は不具合等により、データが一部欠測する場合があります。今回の調査期間のデータ欠測はありませんでした。

(4) カウンターの数値と補正

濃い霧が発生した場合、カウンターが誤作動することが確認されています。そのため、1秒以内に連続カウントしている場合は、霧による誤作動とみなし排除するという補正を行っています。

3. その他

過去のデータ及び今回の調査期間の日別データについては、富士箱根伊豆国立公園のホームページ（以下 URL）で公開しています。

http://www.env.go.jp/park/fujihakone/data/fuji_tozansha.html

中間発表は暫定値であり、9月10日の閉山日までの全体データの公表をもって確定値となります。

なお、今シーズンの最終的な数値の発表は9月下旬を予定しています（閉山日〔9月10日〕までのデータ）。